

会 議 録

会 議 の 名 称	弘前市指定管理者選定等審議会
開 催 年 月 日	平成30年 8月10日 (金)
開 始 ・ 終 了 時 刻	9時00分 から 10時30分まで
開 催 場 所	弘前市役所 市民防災館3階防災会議室
議 長 等 の 氏 名	清藤 憲衛
出 席 者	委員 清藤 憲衛 (会長) 委員 熊谷 幸一 委員 飯島 裕胤 委員 菊池 励美 委員 小林 太郎
欠 席 者	なし
施設所管部職員の 職 氏 名	(弘前市岩木りんご集出荷貯蔵センター) (弘前市りんご公園) 農林部長 宇庭 芳宏 りんご課長補佐 成田 修 りんご課係長 奈良岡 健 りんご課主事 飯塚 瑛久 (弘前市立観光館) (弘前市立観光館駐車場) (星と森のロマントピア) 観光部長 岩崎 隆 観光政策課長補佐 土岐 康之 観光政策課係長 鎌田 孝教
事務局職員の 職 氏 名	ひろさき未来戦略研究センター 副所長 渋谷 明伸 情報分析・行革・連携担当総括主幹 蒔苗 元 情報分析・行革・連携担当主事 冨田 正史

<p>会 議 の 議 題</p>	<p>案件 1. 岩木りんご集出荷貯蔵センターほか計5施設の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等について (延期分)</p>
<p>会 議 結 果</p>	<p>案件 1. 岩木りんご集出荷貯蔵センターほか計5施設の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等について (延期分)</p> <p>(1) 岩木りんご集出荷貯蔵センター 岩木りんご集出荷貯蔵センターの指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当である。</p> <p>(2) 弘前市りんご公園 弘前市りんご公園の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当である。 (附帯意見) 選定方法について、次期更新時には公募を前提に検討するものとする。</p> <p>(3) 弘前市立観光館 弘前市立観光館の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当である。 (附帯意見) 選定方法について、次期更新時には公募を前提に検討するものとする。</p> <p>(4) 弘前市立観光館駐車場 弘前市立観光館駐車場の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当である。</p> <p>(5) 星と森のロマントピア 星と森のロマントピアの指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当である。</p>
<p>会 議 資 料 の 名 称</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案件対象施設及び指定管理者候補者選定方法一覧 (資料1) ・ 指定管理者制度に係る今後のスケジュール (資料2) ・ 指定管理者制度の導入に係る方針 (資料3) ・ 弘前市指定管理者選定等審議会委員名簿 (資料4)

<p>会議内容</p> <p>(発言者、発言内容、審議経過、結論等)</p>	<p>1 開会</p> <p>2 案件</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p> <hr/> <p>2 案件</p> <p>【以下、施設所管部からの説明、質疑等の概要】</p> <p>(議長) 全体の概要について、事務局の説明を求める。</p> <p>(事務局) 案件「指定管理者候補者の選定方法等について」審議する施設は、一覧に記載のとおり審議を延期していた岩木りんご集出荷貯蔵センターほか計5施設となっている。これは、平成31年3月をもって現在の指定期間が満了するため、今年度更新手続をとるものである。選定方法は弘前市立観光館駐車場を公募とし、それ以外は非公募とし、指定管理者は一覧に記載のとおりである。</p> <p>(議長) 岩木りんご集出荷貯蔵センターほか計5施設の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等について審議を行う。会議の進め方は、募集グループごとに、担当部からの説明及び質疑を行い、審議することとする。 それでは、弘前市岩木りんご集出荷貯蔵センターの選定方法等について、農林部から説明をお願いします。</p> <p><施設所管部 説明></p> <p>(議長) 以上の説明について、質問や意見はないか。</p> <p>(委員) 施設の職員体制は、どのようになっているのか。</p> <p>(施設所管部) 人員配置については常勤3名、月曜日から土曜日までで、勤務時間は8時から17時となっている。</p> <p>(議長) 他に質問等がなければ、弘前市岩木りんご集出荷貯蔵センターの指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等に</p>
--	---

については、妥当であるとしてよろしいか。

<委員了承>

(議長)

次に、弘前市りんご公園の選定方法等について、農林部から説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

年間入園者数は約 14 万人ということで大変多いと感じるが、こういった目的で来園しているのか。

(施設所管部)

近年、特に目立っているのは外国人観光客で、直近の年度で約 1 万 9 千人の外国人が入園している。平成 25 年度では 2 千 5 百人であり、観光客には当市のりんごを象徴する施設の一つであると認識している。

(委員)

そこで伺うのは、なにを目的に来るのかということと、来て十分に満足しているのかということだが、その辺はどう考えているのか。

(施設所管部)

春は、さくらまつりや様々なまつりの観光ルートの一つとなっており、出来秋の時期となると、台湾の観光客には当市のりんごの周知度が高く、一度は弘前市に来て、りんごをもぎ取ってみたいという思いがある。ただ、それに対する満足度について集計はとっていないが、施設で買い物や飲食してもらい、その後に SNS で情報発信しているのので、入園者が増えていると考えている。

(委員)

収支状況について、平成 27 年度から赤字となっており、理由は人件費の増加ということだが、人員の配置は適正なのか。

(施設所管部)

人件費の増加により支出が収入を上回る状況となっているが、これは指定管理者の観光コンベンション協会の人事で課長級職員が管理者として配置され、このことで人件費が膨れる要因となっている。このため、職員の配置基準について、市では

課長補佐級の職員と主事級職員を配置するとして指定管理者との
かい離を縮めるよう現状に沿った形にしている。

(委員)

いまの話は、人件費を抑えるという話か、それとも平成 27 年
度から人件費が増えているので、それに合わせるという話なの
か。

(施設所管部)

現状に合わせるほか、観光コンベンション協会においても人
員配置について検討してほしいということで、調整を図ろうと
するものである。

(委員)

基本的に非公募というのはいかがかと思っており、資料に記
載する極めて専門的な知識や技能が必要とは、どの辺が施設で
は必要なのか。

(施設所管部)

入れ込みの実績について先ほど、年間 14 万人があったと話し
たが、これを県内外の比率で見ると、ほぼ五分五分であり、県
外からは観光客が主であるほか、外国人観光客が非常に増えて
おり、外国人の対応には専門性が必要になってくるものと考えて
いる。また、他施設の問い合わせや案内もあり、そうしたこ
とに機敏に対応することでお客様の満足度が高まっているもの
と考えられることから、観光コンベンション協会でなければ、
対応は難しいものと認識している。

(委員)

インバウンド対策や県外のツーリスト対策が専門的だと言う
のであれば、旅行代理店などの専門業種もあるのではと思う。
可能性として、その他の指定管理者が考えられるのであれば、
公募が良いのではと考える。

(施設所管部)

補足だが、りんご公園は利用が無料であり、市内の公益的な
観光法人はコンベンション協会しかおらず、公益性が望まれる
施設であることから、非公募としている。

(委員)

今すぐに、という話では無いが、公益性の高い施設だから指
定管理となっていると思うので、非公募ありきという発想から
少し離れられたほうが良いのでは。マンネリ化という話もある
ので。

(施設所管部)

現在、施設のリニューアル工事が終了するところであり、許
容面積が約 2 倍程度に膨らむことになる。また、りんごの家の

増築工事も今年度完成すると、新たな利用の幅も広がってくることも考えられることから、中長期的な施設のあり方のなかで、いただいた意見も含めて検討していきたい。

(委員)

私も同意見であり、先ほど外国人対応に高度な知識が必要ということだが、むしろ、そうであるなら広く公募し、そういうところについて、どういった提案が出来るのかを踏まえて選別するというのが本来の趣旨と考える。そういった意味で出来るだけ広く募集し、そうしたなかで、観光コンベンション協会としても工夫していただくということが長期的には必要であると考える。

(議長)

他に質問等がなければ、弘前市りんご公園の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当であるとしてよろしいか。

<委員了承>

(議長)

次に、弘前市立観光館の選定方法等について、観光振興部から説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

全国の観光館を見学すると、すごく流行っている施設とそうでない施設があるが、観光館の現状については、どのように評価しているのか。

(施設所管部)

約51万4千人の方が観光館を訪れており、この数値は観光館の他に山車展示館、外人教師館や追手門広場でのイベントの来館者数となっている。八戸市や函館市にも観光館があり、それと比べると数値的には利用者は少ない状況だが数字の取り方が違うため単純に比較することは出来ない。ただ、観光客は立ち寄っているものの、観光館自体の魅力は薄れてきているのではと考えている。施設の2階に津軽塗の展示や昔からある山車が展示され見どころはあるが、魅力が薄れてきているので、施設内の展示内容をリニューアルする必要があると感じている。

(委員)

観光コンベンション協会に任せることによって、来客数の増加や何か観光に資することが出来ると考えているのか。

(施設所管部)

観光コンベンション協会として、街歩きやサイクルネット、独自のイベントも開催するほか、観光パンフレットを配付するなど、観光コンベンション協会独自で推進しているところもあるので、そうしたソフト事業により相乗効果を図っていきたい。

(委員)

一市民として、施設が賑わっているという感じがしない。もっと賑わせるということを考えてみると、観光コンベンション協会が適当なのかという話になるし、そうでないとすれば、別な方向を目指しているということになるが、その辺りはどう考えているのか。

(施設所管部)

賑わいという点では、少し不足していると感じており、理由として観光客や市民にとって魅力が薄れてきているのかなと思う。集客要素が不足しており、観光コンベンション協会の力不足というより施設自体の老朽化という部分があると考え。これについては指定管理とは別に、施設の長期的なあり方を考えていく必要がある。

(委員)

一つだけ申し上げると、当然、この施設は観光コンベンション協会という視点で進めていると思うが、実際に他を募ってみたらそうなのかも知れないが、最初から観光コンベンション協会ありきで本当に良いのかというのは、疑問に思う。

(委員)

この施設を非公募にする理由は、あまり見つからない。さきほどの実績の数値は、自主事業の取り組みも入っているのか。それとも、アップルマラソンのようなイベントも数値としているのか。どうやって数字を把握しているのか。

(施設所管部)

アップルマラソンのような特別なイベントは数値に含んでおらず、基本は、施設のインフォメーションセンターで目視により利用者数を把握している。その他、山車展示館の入館者数、プラスイベントでの利用者数となっている。

(委員)

市での非公募理由が、密接な連携を図りながら運営が求められているとしているが、だとするなら、選定基準の配点が合わないように感じる。これだと、評価項目に記載する、市が示し

た管理運営の方針との適合性、という項目の配点が低いといけなと思う。その点についての整合性をどう考えるか。

(施設所管部)

採点基準の作成にあたっては、これまで以上に施設を効果的に運営して、観光客や市民サービスを向上する方策を提案していただきたいということから、施設の設置目的を効果的に達成することや、効率的な管理運営という項目の配点を高く設定している。

(委員)

いまの施設の活用の仕方について、市としても今ひとつだという感覚があるのであれば、また、自ら提案してほしい、活性化してほしいというのであれば、非公募である必要は無いと考える。

(施設所管部)

次の指定管理について、観光コンベンション協会ということで進めているが、当市は他都市と比べても、観光コンベンション協会や商工会議所、物産協会と連携を図っている。観光施策については観光コンベンション協会が最も振興策を進めている団体であり、観光館の管理運営で得た情報を観光コンベンション協会の取り組みにも反映していくことから、市として、観光館の指定管理をすることは大変重要なものと思っている。

(委員)

観光コンベンション協会が地域の主要な団体であることは、認識しており、市と観光コンベンション協会ですぐに連携し、どうすれば施設が賑わうのか、または別の方向で施設を運営するのであれば、どういう方向にもっていくのか、連携して活用してほしい。市の中心にある立派な施設であるが、市民が活用していない現状において、施設の方向性を定めて利用の仕方を探っていただきたい。

(委員)

観光コンベンション協会が貢献していることは十分に理解するが、だからといって他の団体を公募することを止めてよいのか、他と付き合わないのが良いのか。密接な関係があっても良いが、他にも付き合うということがあっても良いのでは。最初から排除してしまうということでは無く、さまざま検討した結果、やはり観光コンベンション協会だったという風にしていただきたい。結果論として同じかもしれないが、長期的にみた場合、最初から観光コンベンション協会が決まっているのか、そうでないのかは、大分違ってくると思う。いろいろな知恵を持っている方がいるし、そうした部分を生かすということが指

定管理の選定のあり方だと思う。今後の参考にしていただきたい。

(施設所管部)

観光館の意味合いとして、施設の管理運営だけではなく、弘前市の観光情報発信の拠点の位置付けもあり、市と現場を担う観光コンベンション協会の連携した事業と認識している。コンシェルジュとして観光客に情報提供するということに対しては、観光コンベンション協会が最適であり、ここに代わる団体は無いと思う。このほか自主事業で賑わいの創出を要望しているが、施設の有効活用からも提案していただきたいという思いであり、観光の拠点施設として、市と観光コンベンション協会が連携して施設を管理運営することが最善だと思っている。配点の部分については、確かに低い部分もあるが、具体的な提案の中身を判断したいという考えから、そうした点に重みを置く配点としているが、決して総合的な観点を軽視しているものではない。

(委員)

確かに、弘前市の観光情報の発信拠点だと理解するが、けれども、本当に観光コンベンション協会でなければ出来ないのか、他の団体なら出来るところもあれば、出来ないところもあるのでは。工夫して出来る方向にしていっての方が良いのではないか。いますぐにという訳ではなく、そういうあり方を検討しても良いのではないか、という意見である。

(委員)

観光コンベンション協会が現状では、一番良いだろうという判断であれば、公募にしたうえで、本当に良いのであれば、観光コンベンション協会が選ばれるということになるので、非公募で、そこありきでは無く、将来的に新しい風を入れるということを含めて公募ということを考えてもいいのではないか。

(議長)

今後、観光館については、観光コンベンション協会と協議するなかで、公募ということも検討していただきたい。

他に質問等がなければ、弘前市立観光館の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当であるとしてよろしいか。

<委員了承>

(議長)

次に、弘前市立観光館駐車場の選定方法等について、観光振

興部から説明をお願いする。

＜施設所管部 説明＞

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

期待する自主事業の内容について。

(施設所管部)

基本として駐車場として運営し、赤字にならないとするのが大前提で、自主事業については冬期間の観光客の足を確保できないかという視点から観光振興に役立てていくことが出来ないか、ということ期待している。

(委員)

募集要項はどのようになるのか。

(施設所管部)

自主事業の実施要請は記載するほか、説明会では口頭で説明し、事業者からは斬新なアイデアも期待していきたい。

(委員)

収支予算における管理費の増額については、年間の管理料と理解してよいのか。

(施設所管部)

毎年の経費として支出するものである。

(委員)

ゲート機器費や閉鎖開場費、コールセンター等とある経費は妥当なのか。

(施設所管部)

ゲート機器は5年間でのリースと考えており、指定管理者側で設置していただくことを想定している。閉鎖開場は朝と夜に人を派遣して実施することからの費用を見込んでいる。コールセンターについては、電話回線で集中処理センターにつながるものだが、その対応や駐車場全体の管理運営を含めて計上している。具体的には出口で出られなくなったり、機械での料金支払いに支障が生じたりした場合や集金作業などはコールセンターで対応することになる。

(委員)

今回の積算にあたり、相見積もりはとったのか。

(施設所管部)

機械化の方針を部として決めたいので、事業者数社に相談し、積算している。資料には記載していないが、保守点検費や駐車場のライン引きなども対応する方向での積算としているので費

用対効果も期待できると考える。

(委員)

毎年、さくらまつり時に駐車場の出入り口が非常に混雑するが、今後は繁忙期などでは指定管理者側に人的対応を求めることになるのか。

(施設所管部)

管理業務基準書上では、さくらまつり期間中や何らかのイベントで混雑が見込まれることに対する対策案を募集時に求めることにしている。

(委員)

利用料金を超えた部分については、市と指定管理者側で分けるということか。

(施設所管部)

その通りである。

(委員)

利用料金の予算 1 千 200 万円はどのように積算したのか。

(施設所管部)

平成 29 年度の収入をベースにしており、参考までに平成 27 年度の収入が 1 千 197 万円、平成 28 年度は 1 千 156 万円、平成 29 年度が 1 千 219 万円となっており、入ってくる料金で運営していただき、それを超える分については当市と折半してほしいということである。事業者に対するヒアリングでは、現状よりも努力によって収入は上がるだろうということで、現状では 1 時間以内で在庫するのが 6～7 割であり、もう少し料金の仕組みを工夫して利用していただくということで収入の増加を図りたいと考えている。

(委員)

先ほどの委員の発言を踏まえると、管理費をもっと圧縮できれば、収入の部分のハードルを下げ、その分を市とさらに折半することが出来るのは。

(施設所管部)

一番悩んだところが、利用料金の 1 千 200 万円が妥当かどうかというところがある。今回の変更により、どこからも応募が無いということだけは避けたいことであり、今回から 1～2 年運営していけば、どのくらいの収入や費用が必要となるのか把握できるので、その辺りを次回の指定管理に生かしていきたいと考える。

(議長)

他に質問等がなければ、弘前市立観光館駐車場の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当

であるとしてよろしいか。

<委員了承>

(議長)

次に、星と森のロマントピアの選定方法等について、観光振興部から説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

宿泊施設の稼働率については、どうか。

(施設所管部)

平成 29 年度の定員稼働率については約 38%、客室稼働率は約 68%となっている。客室 1 室あたりでは 6~8,000 円となっている。

(委員)

施設に支払う指定管理料については、どのように考えているのか。

(施設所管部)

構造上、客室数は 17 室で宿泊施設としては少なく、施設内には様々な機能があるが、収益をあげるのは宿泊とバーベキューといった飲食のみであり、現状での運営状況は記載の通りである。市の観光施策において、郊外的な宿泊施設は少ない状況にあり、旅行者が求める一つとして今後も継続して運営していきたい。

(委員)

潜在的な大事な施設は理解するが、現状から考えた時に果たして維持する施設なのかについて、どのように考えているか。

(施設所管部)

現状として施設も老朽化しているし、このままで良いのかという議論もあり、市としては今後のあり方について検討しており、その中では、収益をあげる対策や施設のあり方全体を改めて考えているところである。現状のままで維持するということではなく、改善する部分は改善することを考えながら取り組んでいきたい。

(委員)

宿泊してくれる人はお金を落としてくれるので、そうした観

光の拠点としてのあり方について、いろいろな経緯を引き継いできたので有効に活用していただくよう今後も検討してほしい。

(委員)

この施設は、近隣の人の宿泊を目指しているのか、ツーリストの稼働を上げていきたいのか、どこをターゲットにするのが大事なところと考えるが、施設の収支状況における管理費について支出の内訳はどうなっているのか。

(施設所管部)

一番大きいのは光熱水費であり、プールがあり屋内のため、温水にするほか暖房も必要になり、電気、水道、燃料を含めると約4千6百万円になる。そのほか、老朽化する施設の維持補修費が約2千万円、飲食や宿泊の仕入れに約5千万円となっている。

(委員)

プールは以前、稼働させない時期があったと思う。光熱水費との関係で稼働させる時期を限定することについては、どう考えるか。

(施設所管部)

プールの一番の稼働時期は7・8月であり、それ以外は毎月2千人前後の利用となっている。昨年度は赤字で支出の面でも見直しが必要であり、厳しい状況であれば期間を区切って営業する形を検討しているところである。

(委員)

一年中稼働してくれたほうが市民には良いのだが、施設の収支を考えると見直して、多少ドラスティックな変更をしていかざるを得ないのでは。収支見通しがたっていない原因を深堀して検討していかないと負担の大きい施設になってしまう。

(委員)

プールについては、利用料金を変えるという選択もあるのである。

(施設所管部)

現状は大人360円、小学生が210円となっている。条例で規定する範囲の中では、変更は可能である。

(委員)

いずれは、そういった面についても検討していただしてほしい。

(施設所管部)

現在、老朽化に伴う施設のあり方について検討しており、その中ではプールのあり方について、一般の利用以外に小学生の

	<p>学校利用などで公共的な面もあり、難しいところもあるが、収支的には成り立たない部門なので、検討課題のひとつと捉えている。</p> <p>(議長) 他に質問等がなければ、星と森のロマントピアの指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当であるとしてよろしいか。</p> <p><委員了承></p> <p>(議長) 今後の予定について事務局から説明をお願いします。</p> <p><事務局から今後の予定について説明></p> <p>(議長) 質問がなければこれで案件審議を終了する。</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>会議は非公開である。</p>